

小倉工業北辰会報

Vol. 76

http://www.hokusin.net/

発行：平成30年5月14日

転任の御挨拶



教頭 伊藤 学
(昭和61年機械科卒)

新緑の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平成30年度の人事異動によりまして、4月1日付にて石津勝幸教頭先生（本年度より福岡工業高校副校長）の後任として、戸畑工業高校より転任して参りました伊藤学でございます。恐縮ですが自己紹介をさせていただきます。私は昭和61年に本校機械科を卒業後、地元の鉄鋼メーカーに就職しました。職場では上司や先輩にも恵まれ一生懸命に仕事をしましたが、工業の教員になりたいという気持ちを抑えられず、教職を目指し現在に至ります。初出勤の日に復刻された篠崎門をとり、サイトウマコト先輩のオブジェと壁画を眺めていると、多くの生徒が元気に挨拶してくれました。このとき倉工に帰ってきたことを実感した次第です。念願の母校勤務を命ぜられたことは喜びであると同時に、諸先輩方が築き上げた119年の歴史と伝統を誇る本校での新しいスタートに身の引き締まる思いであります。

さて本県は「国際的な視野を持って、地域で活躍をする若者（ふくおか未来人材）」の育成を目指す「ふくおか未来人材育成ビジョン」を「福岡県の教育大綱」として位置付けました。この「ふくおか未来人材」には、「学力、体力、豊かな心」、「社会にはばたき力」及び「郷土と日本、そして世界を知る力」の3つの力が求められています。

この求められる力を生徒に付けさせるため本校では「21世紀を切り拓く未来のスペシャリストを目指す『志高く自律心と思いやりの心をもった 質実剛健倉工生』の育成」という教育目標を校長先生が示され、チーム倉工として全職員一丸となって様々な教育活動に取り組んでおります。

教育目標を達成するため北辰会からはOB講話をはじめ、生徒海外研修やものづくりに関する資料提供、そして部活動がんばろう会等々あらゆる教育活動に対し、物心両面の御支援を頂いておりますことは感謝の念に堪えません。

校長先生が示された教育目標を達成し、日本一の工業高校を目指すため、そして来年度迎える120周年記念事業を成功させるため、微力ではありますが全身全霊で校務に邁進して参ります。前任の石津教頭先生と同様の御支援、御厚誼を賜りますようお願いいたしますとともに、北辰会の今後さらなる御発展を心より祈念し転任の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

会報75号 掲載内容の 訂正とお詫び

前回75号【村野藤吾作品探訪】にて名称の間違いがございました。文章3段目12行目に北九州ひびき信用金庫となっておりますが、正しくは、「福岡ひびき信用金庫本店」です。訂正してお詫び申し上げます。



福岡ひびき信用金庫 本店

平成30年度 北辰会総会

当番幹事：平成7年卒、平成19年卒

日時 平成30年5月27日(日)
場所 小倉飯店
北九州市小倉北区堺町1-8-14
TEL (093) 521-8631
時間 ○受 付：14時から
○総 会：15時から
○懇親会：16時30分から
会 費 ￥5,000

懇親会メインイベント
「フラメンコダンススタジオ ロサ ルシーダ
愛と情熱のフラメンコ」

講師（メインダンサー）：田中 秀美 様
主催教室のダンサーの皆様
ダンス曲目：セビジャーナス アレグリアス ティエントス



〈田中秀美様プロフィール〉
福岡大学経済学部卒業後高等学校の社会科教員を経てフラメンコダンサーを目指す。ナタリヤ、ミリアム、ラウラ等外国人ダンサーに師事。スペイングラナダセビージャに留学後、飯塚田川にて教室開講。薬院スペイン料理店イビサルテ、薬院サルーその他イベント等に出演。天神チャコットカルチャースクール講師。

御挨拶



前教頭 石津 勝幸

春暖の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成30年度の人事異動によりまして福岡工業高校へ副校長として転出となり、3月末日に北九州の活天地を後にいたしました。平成28年4月1日に赴任いたしましたから2年間で、籠原裕明会長を始め北辰会の皆様には、過分なるご厚情とご鞭撻を賜りましたことに対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

頂戴いたしました小倉工業高校並びに北辰会とのご縁は、今年創立119年を迎えます栄えある歴史と伝統を前に、毎日がその重責に身の引き締まる思いでありました。振り返れば、日本一という使命を背負い、「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の校訓の下、希望に燃ゆる健男児の育成に幾何の力も出せず後悔ばかりが残っております。しかし、倉生生には、日本のみならず世界で活躍されます2万2千余名の卒業生の皆様の物心両面に渡る惜しみないご支援、後ろ盾もあり、間違いなく将来、日本の未来を担い牽引する中核的な人材に成長してくれるものと確信します。県内外の支部総会に出席させていただいた折は、どこの支部でも皆様の倉生に対する熱い思いがひしひしと伝わってまいりました。

今後は、福岡工業高校の発展のため大変微力ではございますが、皆様からのご教示を活かし一心一意その職責を果たす所存でございます。どうぞ今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、北辰会の今後益々のご発展と、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

日韓技術交流開催！

仁川機械工業高校

メカトロニクス選手団来校

小倉工業高校のものづくりの活動は全国でもトップクラスの活躍をしており、高校生ものづくり大会での優勝など優秀な成績を修めています。また、卒業生の企業での技能五輪の活躍もめざましく、国内大会での優勝や上位入賞を果たしています。世界大会での金メダリストを4名輩出しています。各校別では全国トップです。

その成果の基となるのが、日々の学校内での学習と技能訓練です。母校では、機械科、電子機械科、電気科、電子科、工業化学科の各科で毎日のようにものづくり全国大会に向けて、トレーニングを行っています。

韓国の技能五輪世界大会の成績は昨年の世界大会で中国に抜かれるまでは世界トップを続けていました。その人材養成の中核を担っているのが小倉工業高校と姉妹校の仁川機械工業高校です。仁川機械工業高校卒業生の世界大会金メ



ダリストは47名います。

近年の世界大会では、母校卒業生と仁川機械工業高校の卒業生が世界大会で金メダルを争うという素晴らしい交流が出来るようになりました。

この度、両校の親善交流の中で、養成種目と同じ競技の技術交流を行うことになり「メカトロニクス」職種で技術交流が実現しました。

昨年12月19日～24日の間、学校での合宿やホームステイを行い、技術交流を行いました。高校生の時期から社会人レベルのトレーニングを取り入れている韓国の選手の技術レベルの高さに驚きながらも、母校生徒は多くのことを学び、日韓技術交流を行う事が出来ました。定期的な技術交流と、世界大会で金メダルを競い合うと、誓い合いました。

吹奏楽部定期演奏会への ご協力に感謝致します。

平成30年2月4日(日)ウエル戸畑にて第12回吹奏楽部定期演奏会が開催されました。

開催にあたり北辰会の皆様を始め学校関係者等におかれましては多大なご支援・広告掲載ご協力を賜り心から感謝致します。部員たちも日々の練習成果を存分に発揮した事と思います。いろいろと不備な事も有ったかとは思いますが無事に終わる事が出来ました。ご来場の皆さんは生演奏の体感をお土産にされたと思います。話は変わりますが4月28日、吹奏楽部OB会総会を母校音楽室にて開催し生徒との懇談をしました。新1年生も9名入部して中に経験者が4名居るそうで今年はレベルアップするのではと思います。

出費多端な折り誠に恐縮ではございますが、今後とも北辰会の皆様にはご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

～学校だより～

ドローン5台寄贈 野見山誠一（昭和36年 電気科卒）から

野見山誠一（関東支部長）から母校へ教材用にドローン5台が寄贈されました。2月28日北辰会入会式の後に校長室に於いて贈呈式が行われました。

贈呈式に先立つ1月31日(水) 課題研究発表会が行われた会場で、寄贈される5台の内の1台が、ステージの上を飛び立ち生徒の間に響めきが拡がりました。

5月に入り更に5台が寄贈されました。10台のドローンを有効に活用し、後輩がドローン技術を習得し将来社会に活かす事が野見山先輩への恩返しとなります。

学校では、北九州市若松区の農家ベジタブルセンター UFO 藤嶋様と電気科生徒10人が、ドローンを使ってスイカ他色々な農作物の育成状況を把握する準備を進めています。1年がかりの実験になりますが、この実験により収穫の効率UPに繋がるようになれば農家さんにとっても貴重なものとなるでしょう。

この研究実験の結果は、来年2月の課題研究発表会に於いて発表されます。



ものづくり発表会で優秀賞受賞

IOTで高齢者支援

昨年行われた福岡県主催のものづくり研究発表会に於いて電子科生徒（今春卒業）が、取り組んだ研究発表が優秀賞に選ばれました。

研究作品は、「超高齢化社会に向けた高齢者支援システムの研究 ～IOT技術の実践的な取り組み～」。内容は、一人暮らしの高齢者を認知症による事故や災害からどう守るかを考え、身の周りの物をインターネットに繋ぐIOT技術を使い赤外線センサーで認知症の高齢者の動きやドアの開閉などを察知し、インターネットを通して呼びかけをし、それが、音声機器やカメラに伝わり撮った画像を離れた家族のスマートフォンに送る事ができます。情報を受け取ると大きな掲示板に「HELP」の文字が出る装置も作りました。自然災害で助けを求める際に有効です。

この研究は、2月に行われた課題研究発表会で発表されました。



村野藤吾先輩の作品母校へ

創立120周年まで、あと1年となりました。

記念事業の概要は、次号で発表しますが、その一つ村野藤吾先輩の作品コーナーを設置する予定です。昨年、旧八幡図書館のレンガ、丸窓、階段手摺等を北九州市病院局から提供して戴いていましたが、村野先輩の孫 村野 永氏から新たに高輪プリンスホテルのVIPルームで使用した椅子、テーブル、照明スタンドの3点を提供して戴ける事になりました。村野藤吾先輩が製作に関わった大変貴重な作品です。

後輩の皆さんに、ものづくりの大切さを学んで欲しいと願っています。



寄贈品
スタンド



寄贈品 椅子



寄贈品 テーブル

ドローンを使った教育

電気科 福来 知昭（平成10年 電子科卒）

昨今、無人航空機（ドローン：UAV）は、様々な場面で広く活用されつつあります。

登場当初は、印象が、あまりよくなかったドローンですが、技術の進歩とAIによる自動姿勢制御システムのお陰で誰でも簡単に操縦することが可能となりました。その反面、モラルを逸脱した一部の操縦者や初心者が無理な飛行を行い事故につながっているケースが発生しています。

一方、産業界では、ドローンを使った空撮の他にも、農業・土木・建設・人命救助など幅広い分野で専用のドローンが活躍しています。現在のドローン市場は、500億円超ですが2024年には3,700億円超という調査報告もあります。その予兆は、すでに本校の就職先にも表れています。大手、電力会社によると設備保守・点検をドローンで行うプロジェクトがあり、測量においても3日は必要とされる測量を半日で完了することができました。

本校の就職先でも即戦力となる人材を輩出する為にドローンを使った授業を行い、生徒へ興味関心を持たせ、法律厳守で安心安全にドローンを飛行させることができる人材育成を目指し指導に当たっている次第です。

本年、2月28日に、野見山先輩から小型無人機（トイドローン）、5台を寄贈していただきました。このドローンは、初めてドローンに触れる生徒たちにドローンの安全性や基礎的な飛行技術を学ぶ為に使用させていただいています。本校は、人口密集地の街中に位置しており、航空法の規制対象地域となっています。その為、規制対象外となる200g以下のドローンでなければ飛行することができません。今回、寄贈していただいたドローンは規定対象外のトイドローンでありながら多くのセンサーを内蔵し安定した飛行が可能です。初めて触れる生徒でも、少しの学習で、すぐに飛行を行うことができます。

今後は、生徒へ本格的な産業用ドローンも飛行できるように、私自身も研鑽を重ねる所存です。まずは、4月にDJI CAMPスペシャリスト資格（世界シェア75%のドローンメーカーの民間資格）を習得いたしました。

本年度の課題研究では、農家さんと協力をさせていただきドローンを使った精密農業の実証研究をさせていただく予定です。

今後とも生徒の教育活動にご支援、ご教授よろしくお願いいたします。

技能五輪国際大会 金メダル受賞報告

去る5月2日創立記念式典が行われました。

式典の前に、昨年第44回技能五輪国際大会「製造チーム チャレンジ職種」に於いて金メダルを獲得した麻生知宏氏が、全校生徒の前で講話を行いました。

麻生氏は、「1年間かけて課題の「火星探査ロボット」を24台試作して、最終的に6輪のロボットを製作し本番に臨んだ。小倉工業在学中に卒業生3人目の国際大会金メダリスト川辺祐也氏（平成20年 電子機械科卒）の金メダル受賞報告会の講話を聴き、技能五輪を目指した。在校生の皆さんも夢を持ち、それに向かって努力して欲しい」と語りました。



教職員の異動

【転出】

- ▽石津 勝幸(教頭) 福岡工業高校へ
- ▽山崎 理一(国語) 小倉商業高校へ
- ▽麻生 貴史(数学) 中間高校へ
- ▽藤元 敦子(理科) 戸畑工業高校へ(新規採用)
- ▽東山 陽治(機械) 戸畑工業高校へ(新規採用)
- ▽村上 雅俊(電子機械) 戸畑工業高校へ(新規採用)
- ▽岡田 直樹(電子) 福岡工業高校へ
- ▽浅田 修平(工業化学) 小倉高校へ
- ▽鬼武 薫(養護教諭) 八幡工業高校へ
- ▽飛松 智子(事務次長) 八幡工業高校へ

【転入】

- ▽伊藤 学(教頭) 戸畑工業高校より
- ▽大澤 晶子(国語) 小倉商業高校より
- ▽東島 康晴(数学) 八幡中央高校より
- ▽末松 武志(理科) 門司大翔館高校より
- ▽池田 崇真(理科) 八幡高校兼務より
- ▽桑本 雅生(機械) 戸畑工業高校より
- ▽久保 光平(機械) 新規採用(柳井商工高校)より
- ▽牟田 拳斗(電子機械) 新規採用
- ▽崎村 論(電子機械) 新規採用
- ▽福来 智昭(電気) 戸畑工業高校より
- ▽伊藤 春海(電子) 田川科学技術高校より
- ▽天野 辰夫(工業化学) 新規採用
- ▽松川 文人(工業化学) 若松商業高校より
- ▽徳永久美子(養護教諭) 小倉西高校より
- ▽藤林真由美(事務次長)

北辰会 年会費納入のお願い

母校創立120周年まであと1年足らずとなりました。母校が益々発展する礎は、卒業生が支えなければなりません。母校の更なる発展を願うところ です。

会員諸氏からの北辰会費が母校の発展に繋がります。皆さんのご理解ご協力をいただき北辰会費2,000円の納入をよろしくお願いいたします。

教育振興基金へのご協力をお願いします

母校のものづくりに関しては、皆さんからの教育振興基金が大きな支えになっています。

昨年麻生知宏氏（平成24年 電子科卒）が、技能五輪世界大会で金メダルを獲得しました。

これで、倉工の卒業生で4人目の金メダリストが誕生しました。倉工で基礎が培われた経験が活かされた結果です。IOT技術や、ドローン技術の習得等の支援に教育振興基金が有効に活用されています。

会員の皆様方には、是非この教育振興基金にご支援ご協力賜りますようお願いいたします。

編集後記

今回も同窓諸氏に原稿をお願いいたしました。ご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

来年は、120周年誌も発行される予定です。多数の同窓諸氏にご協力頂くようになります。

変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～学校だより～

平成30年度創立記念日 O B 講話

5月2日(木)、創立記念日に恒例のOB講話が行われました。昭和29年卒から平成27年卒までの卒業生20名で在校生へ19講座が行われました。

生徒達は、各界の分野で活躍する先輩方の話に興味深く聞き入りました。中には、講師とアシスタント2名と生徒による漫画の実技体験もあり貴重な体験となったようです。



- 井本 義孝 (昭和29年 機械科卒)
 - ユーシア大陸ひとり旅1万キロ
- 坂田 繁 (昭和31年 工業化学科卒)
 - 仕事に打ち込む、社会に役立つ、工業高校生への期待
- 白川 真澄 (昭和42年 電子科卒)
 - クイズに挑戦してみませんか？
- 田中 時彦 (昭和46年 機械工作科卒)
 - 漫画家のアシスタント実技を体験してみよう
- 竹川 均 (昭和49年 機械科卒)
 - 日本刀を通して見る日本の文化
- 泉 日出夫 (昭和61年 機械科卒)
 - 応援したくなる人になるためのポイント
- 吉田 和志 (昭和63年 設備工業科卒)
 - 花火(仕事)を通じて学んだ私の人生観

- 田辺 慎治 (平成元年 電子科卒)
 - コンピュータと私の人生
- 西岡 清隆 (平成2年 工業化学科卒)
 - 電磁波について
- 北出 尚大 (平成4年 機械科卒)
 - Jリーグとしての経験と地域に密着したクラブ作りについて
- 播磨 修 (平成4年 電子科卒)
 - 筋肉と心を鍛える方法
- 岡田 研一郎 (平成5年 電気科卒)
 - 自分の将来設計(ライフプラン)を考えてみよう
- 川上 正喜 (平成10年 電子科卒)
 - 企業に必要な、たった「1つ」のもの
- 吉形 政衡 (平成13年 電子機械科卒)
 - 陸上競技でオリンピックを目標とした青春時代
- 中尾 啓太 (平成16年 電子科卒)
 - 陽一郎 (平成27年 電子科卒)
 - 社会人になって気付いた、在学中に行った方が良かったこと
- 野口 晃平 (平成19年 電子科卒)
 - 世界一のレースへの挑戦
- 野崎 拓帆 (平成20年 設備工業科卒)
 - SKY ACTIVE-Dの開発について
- 麻生 知宏 (平成24年 電子科卒)
 - 世界一を目指して
- 浦原 美希 (平成27年 工業化学科卒)
 - 自分が働きたい会社内に定をもちうためには

※講師(敬称略)・講演題目